めばえ通信

通巻 344 号
令和 7年 6月27日
発行/こども発達センターめばえ

“ 安心が全ての土台に ”

季節は梅雨のはずですが、お日様が力強く照りつける毎日に『熱中症に気をつけ過ごしましょう』が合言葉になっているこの頃です。今年度の生活が始まり、3か月が経過しました。新入園のこどもたちにも継続利用のこどもたちにも、新しい環境や変化のある環境に、馴染み始め笑顔や元気な声に出会える毎日に嬉しさが広がります。

今月は各事業所で親子うんどうかいが行われました。親子で思いっきり身体を動かすことを楽しみたいという願いが込められた行事です。いつもとは異なる取り組みだからこそ、いつもの場所であることが安心して楽しむことに繋がりやすいと考え、以前は園庭で行われていました。しかしながら、ある程度のスペースを必要とすることから、定員が増えスペースの手狭さやお天気に左右されない環境等といった背景を踏まえ、現在のような場所を変えた環境で行われるようになりました。

こどもたちにとって、いつもとは異なる場所での取り組みにドキドキとわくわくが交錯するそんな一日になったことと思います。その中でも、変化の苦手なお子さんにとってはドキドキの方が大きくなり、いつもよりも元気がなく感じたり、逆にいつもよりも動きが大きくなり落ち着かない様子がみられたりしました。こどもたちは様々な姿でその思いを表現してくれていたのではないかと思っています。そんな中で大好きなご家族と一緒であるということ(環境)が、いつもの安心の一部となり、お子さんのペースでの参加や経験、笑顔や元気な声に繋がったことと思います。

“いつも”が一番安心ではありますが、いつもだけという生活はありません。だからこそ、“いつも”ではない場面の経験が、お子さんの生活の幅を広げ豊かにするきっかけの一つとなると考えています。ですが、安心がなければせっかくの経験も残念な気持ちだけが残るものとなってしまいます。だからこそ、お子さん一人ひとりにとって、何が安心に繋がるのか、事前に準備することが大切になってくると考えます。お守りのような安心グッズがあること、見通しが持てること、大好きなご家族と一緒に経験すること等々、お子さんにとっての安心材料は様々です。お子さんの安心を準備し、経験の一つひとつが素敵な積み重ねになることを願い環境を整えていきたいです。

こども発達センターみなみめばえ　所長　森田紀子

～こどもの思いに寄り添った関りについて～

今年度も３カ月が過ぎ、こどもたちも環境に慣れ自分の思いを出しやすくなってきました。こどもたち一人ひとりに適切な支援が提供できるように職員は試行錯誤しながら“こどもたちにとって今は何を大切にすればよいのだろう”と日々考えながら取り組んでいます。少しでも質の良い支援が提供できるよう、職員は定期的に研修の日を設けており、自己研鑽も行っています。様々な考え方がある中で、私たちはこどもの思いに寄り添った関わりを大切にしています。なぜ私たちはこどもの思いに寄り添った支援を大切にしているのか、今回はそのあたりをお伝えしたいと思います。

冒頭で述べたように、自分たちはこどもの支援を考える際に、本当にこれでよいのだろうかと悩むことは日常茶飯事ですが、私はそのような場面に出くわした時は、一度立ち止まって自分はこの子にどのような大人になって欲しいと思っていたのかを思い出すようにしています。もちろん、個々の姿によって全員全く同じというわけではないですが、穏やかで人を信頼できる健やかな人に成長していって欲しいなと自分は思っています。自分の好きなこと、やりたいことをちゃんと見つけられて、それを人に伝えられること、そして時には相手の思いや要求にも応じて折り合いをつけられること、そのような人に成長していって欲しいなと思っています。そのためには、この幼児期には何を大切にしていけばよいのだろうと考え、支援しています。

自分が好きなことを見つけるのは、幼児期の間でも比較的見つけやすい部分もあるかと思いますが、気持ちの折り合いを付けることは中々難しいことが多いです。また一見納得している様に見えても、実際はそう感じていなくて、違う場面で爆発してしまったなんてことも珍しくはありません。自分の中できちんと心の整理がついていなければ、本当の意味で折り合いを付けられているとは言えないのかもしれませんね。気持ちの折り合いを付けられるようになる発達の過程としては、まずは１歳半位で相手からの意図（相手から何を求められているかを察する力）が何となく分かるようになり、２歳後半位から物ごとの繋がりの見通し（〇〇するなら△△する）が持ち始められるようになり、４歳位から少しずつ折り合い（〇〇だけれども～～する）が付けられるようになります。ただし、個々のペースによってこの発達のペースは違うので、お子さんによってはそれぞれの過程がすごく長いかもしれません。一般的には４歳台の力である〇〇だけれども～～する“例）まだ遊びたいけどごはんの時間になったから片付ける。”段階が気持ちの折り合いを付けられる力がついたように見えるでしょう。しかし、これよりも前の段階から折り合いを付けるための準備は始まっていますので、全ての発達が階段のように繋がっています。この階段を登っていくためのサポートとして、大人の寄り添いが必要なのです。相手の意図や思いに応じるには、その前に自分の気持ちを分かってもらえた、受け止めてもらえたという実感の積み重ねが必要だと思います。自分の気持ちを満たしてもらえた相手のことはこどもも信頼でき、その信頼できる相手からの思いには自分も応えてみようという気持ちが育ってくると思います。

私が以前関わったこどもの中で、自分の思いを絶対に通したいという子がいました。周りがはじめの会や活動を行っていようが、お構いなしにプラレールで遊んでいたがったり、興味のある活動では自分のタイミングで参加するけれど、おもちゃを手離すことができない子でした。その都度メリハリをつけて対応すれば全く応じられないわけではなかったのですが、毎回そのやりとりを繰り返していました。そのような関わりが続いていたため、職員間でカンファレンスをし、自分たちの中で大切にしたいことをもう一度振り返り、まずはその子の思いに全面的に寄り添うことにしました。本当にその対応でよいのか不安な部分もありましたが、この関わりがその後に活かされていくことを信じて取り組みました。その支援の効果なのか暫くしてから、少しずつ苦手だった活動にも参加するようになり、そこから持っていたおもちゃも手離せるようになっていきました。職員とのやり取りにも応じられるようになり、本人と約束しておけば大好きなプラレールあそびを時間になったら切り上げて、はじめの会に向かうようになりました。自分の気持ちを十分に受け止めてもらえたからこそ、相手の思いも組める気持ちが育っていったのだとその時は改めて思いました。

しかし、こどもが発信してくれている思いが全て叶えられるかというとそういうわけでもないですよね。社会性や安全面などを考えた際に全てがよしとなるわけではもちろんないとは思いますし、こどもの最善の利益を考えれば受け入れない方がベターな時もあります。しかし、逆にそれ以外のことであれば、幼児期は存分にこどもの思いに寄り添ってあげてもいいのかなと思います。私もつい、ここでメリハリ付けなくて大丈夫かと心配になる時もありますが、今この場ではなく将来的に折り合いを付けられるようになればよいのだと思います。自分のことを十分に尊重してもらえ満たされたからこそ、次の階段である気持ちの折り合いを付けられる段階に登っていけるわけですね。確かに我々大人も自分の考えや思いを全く聞いてくれない相手の要望には応えたくないですよね。自分の話や思いを受け取ってもらえれば、こちらも譲歩してもよい気持ちになるかと思います。場面や内容によっては叶えてあげられない時も当然あるので、そういった際には頭ごなしに否定するのではなく“〇〇したかったんだよね”とこどもの気持ちをしっかりと代弁し受け止めてあげたいです。

子育ての中では、全部（寧ろできる方が少ないかも？）がこどもの思いに応えてあげられるばかりではないかと思います。しかし、この幼児期に気持ちを受け止めてもらえた経験の数だけその後の心の成長に繋がっていきますので、気負い過ぎない程度にこどもの思いをいっぱい受け止めてあげたいですね。そういった経験を積み重ねた子は穏やかで人を信頼できる健やかな人になっていくと信じています。

こども発達センターきためばえ
言語聴覚士　津原　樹

熱中症に注意しましょう！

熱中症は夏の暑い日のイメージがありますが、６月は暑い日もあれば肌寒い日もあり、寒暖差が大きく身体が暑さに慣れていない為、熱中症への注意が必要です。子どもは体温調節機能が未熟で、代謝が活発なので多くの水分が必要です。そのため、こまめな水分補給が大切です。

予防が大切
- □暑さを避ける
- □服装を工夫
- □こまめな水分補給
- □急に暑くなった日は注意
- □日頃からの健康観察

症状
- □トイレの回数がいつもより少ない
- □暑いのに汗をかかない
- □顔色が赤い、または青白い
- □身体がほってている

こんな時には救急車を！
- □39℃以上発熱している
- □けいれんをしている
- □意識がない
- □水分を全く飲めない

≪７・８月のおもちゃ図書館≫

菊川おもちゃ図書館あそぼ
７月１２日（土）／/８月はお休み
開館場所：プラザけやき
10：00～11：30（検診ホール）
13：30～15：30（児童館あそぼの部屋）
連絡先：0537－37－1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：総合福祉センター
１階西側　Myラボ
７月20日（日）／８月17日（日）
10:00～12:00　13:00～15:00
連絡先：0537－22－1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ
TEL）0537－23－2312　　FAX）0537－23－0008

東遠学園　めばえ　検索

学園ホームページ

7月の予定

7月			心理	バス ○14:30 発 △13:00 発
1	火			○
2	水	毎日通園見学日（次年度からの利用を検討する保護者対象）		○
3	木			△13:00
4	金			○
5	土			
6	日			
7	月	七夕会		○
8	火			○
9	水			○
10	木	保育参加日（栄養士の講話、施設運営懇談会）		×
11	金	毎日通園見学日（次年度からの利用を検討する保護者対象）		○
12	土			
13	日			
14	月			○
15	火	預かり事業利用申し込み及び面接（希望者のみ）		○
16	水			○
17	木			△13:00
18	金			○
19	土	父親保育参加日（～13:00）（全体活動）		×
20	日			
21	月	海の日		
22	火	代休		
23	水			○
24	木			△13:00
25	金			○
26	土			
27	日			
28	月			○
29	火			○
30	水			○
31	木			△13:00

お知らせ

○7日（月）七夕会

七夕会を行います。当日、短冊と七夕飾りを飾った笹を持ち帰ります。ご家族で雰囲気を楽しんで下さい。

○父親保育参加日について

19 日(土)に父親参加保育参加日を行います。詳細は別紙をご覧下さい。

研修・実習の受け入れ

浜松未来総合専門学校（１名） 7/14～28

小笠高校（１名）7/28～7/30

8月の予定

１日（金）１日保育
７日（木）保育参加日（なつまつり）
８日（金）～１５（金）夏休み
18 日（月）保育始め

7月分の請求書発行について

夏休みの関係で、通常よりも請求書の発行が遅くなり、8月 18 日に配布させていただきます。ご承知おきください。